

米株価指数に採用された

日本写真印刷

日本写真印刷は、デジタル機器の表面を装飾する「加飾技術」と、携帯電話や携帯ゲーム機に使われる「タッチパネル」で知られる会社。文化財が多い京都で創業し、美術印刷から特殊印刷に軸足を移してきた。

先週、定期入れ替えが発表された米MSCI

(モルガン

・スタンレ

ー・キャピ

タル・イン

ターナシヨ

ナル) 指数

で、同社株

は新たに採

用される日

本株5銘柄

のひとつに

入った。そ

のため、こ

の指数との

連動を目指す

投資信託やフ

アンドから

の需要を先取

りした動き

が強まり、株

価は上昇し

ている。

同社独自の「成形同時加飾転写システム」(IMD)には数々の特許やノウハウがあり、デザイン重視のノートパソコンや携帯電話などのデジタル機器に広く使われてい

る。また、タッチパネルは「iPhone」に代表されるスマートフォン

の普及で急成長が見込まれている。「ウインドウズ7」向けにも供給。収益を牽引しそうだ。上半期の連結営業利益は会社予想を25%も上回っている。それでも10年3月期の通期予想は据え置いたまま。円高リスクは抱えているものの、今後、上方修正される可能性は高そうだ。

企業価値検索サービス ユーレット
アクセス上昇 ランキング

(11月8~14日)

	銘柄	取引所	株価(円)
1	日本写真印刷	東証1部	4630
2	凸版印刷	東証1部	740
3	日本航空	東証1部	106
4	コスモスイニシア	ジャスダック	532
5	イオン	東証1部	747

*13日終値。http://www.ullet.com/

ユーレット 上場企業4000社の決算書を複数年にわたりデータベース化したサイト。売上高や営業CFなど、さまざまな角度から企業の経営を分析し、ワンクリックで他社と比較できる。経営方針の転換や経営リスクの高まりなど、市場が注目する銘柄のアクセスが増える傾向がある。